

令和4年度 島根中央高等学校 学校評価報告書

【4段階評価（自己評価・学校外部評価）】 A：十分達成できている状況 B：概ね達成できている状況
C：どちらかといえば達成できていない状況 D：ほとんど達成できていない状況

【保護者・生徒評価の数値（％）＝総数における肯定的意見（4・3）の割合 *（0）わからないは除く】
（4：そう思う 3：まあそう思う 2：あまりそう思わない 1：そう思わない 0：わからない）

目指す生徒像	学校評価項目	保護者 評価	生徒 評価	自己評価		学校外部評価	
				評価	概評と今後の改善策	評価	提言等
「自立」 自分で調べ、考え、 判断して行動する	自分で調べたり、考えたり、判断して行動することができていますか。	93	96	B	・生徒の学習意欲向上に関わる項目の評価が低い。根気強く生徒に向き合っていく必要がある。一方、学校の授業の生徒評価は高いので、生徒自身が主体性をもって取り組み自己肯定感を感じられるように促していきたい。 ・自主性やうまくいかないことへの取り組みなどで、やや低い評価となっている。個人面談等で確認する項目としていきたい。 ・地域貢献活動について、生徒指導部だけでなく他分掌や学年、部活動と連携しながら地域とのつながりをもつことができたが、頻度や主体的に取り組む姿勢等はより良くしていく必要があると思う。	B	・進路指導で素晴らしい成果が出ていると思う。一方で、県外の大学や専門学校への進学者が増加すると、川本町や美郷町から出ていってしまう。川本町との企業合同ガイダンスをきっかけとして、地元の事業所等と関わり続ける方法がないか。例えば生徒と事業所同士で共同研究ができるようになっている等の継続できるチャンスが両者にとってであると素敵であると思う。卒業後に繋がる取組もコンソーシアムできるとよい。
	あなたは、授業で興味・関心を持った内容について、自主的に調べ物を行うことができましたか。		80				
	寮生活を通して、規則を守り、身の回りのことを自分でできるようになりましたか。	99	97				
「共生」 人と対話し、知恵と 思いを共有する	他の人と対話をして、考えや思いを共有することができますか。	95	94	B	・地域と協働した教育活動は所期の目的を達成できた。総合的な探究の時間は、2年生で個人探究を行い一定の成果を得た。次年度より総合的な探究の時間が時間割に組み込まれるので、より綿密な計画をたてる必要があることや、校内体制を再検討する。 ・生徒の人間関係による問題が多くあった。諸問題に対して、適切に導く「指導」の部分と生徒の悩みや困りを援助する「支援」の部分を、個に応じてバランス良く行うことを大切にしていきたい。 ・寮生の自治による寮運営ができるようにしていきたい。掃除長を中心に寮生への声かけを行い、各寮生が寮をきれいに保つよう心がけられるようにしていきたい。	B	・川本町の「高校生との繋がり創出事業」における取組として、卒業後にLINEやSNSで繋がることは、よい循環を生み出すのではないかと。他に、卒業後町に訪れて短期間でもアルバイトができる等の実的な方法も考えていけるとよいのではないかと。 ・ホームページやSNSの利用について、どの年齢層（受験者・保護者）に何を情報提供しようとしているのか、狙いを絞ったうえで発信されるとよい。いろいろな通信手段でチャレンジされていることはとてもよい。周りに浸透していけば、この発信がよい動きを生み出してくれると思う。
	生徒との対話を大切にすることができていると思われますか。	91	93				
	あなたは、共同作業だと自分の力が発揮できますか。		83				
	寮生活を通して、人と対話し、協力して生活できるようになりましたか。	97	95				
「挑戦」 最良の未来 に向け、困難に立ち向かう	難しいことにも立ち向かうことができますか。	85	86	C	・今年度の部活動や地域での課外活動に参加した生徒の割合は、例年よりも高く96.8%だった。あそらボや個人での地域ボランティアにも参加する様子がみられた。 ・この項目が他に比べて低めであることに、生徒たちの自信の無さが表れているように思う。日々の活動の中で声を掛けつつ、自信を身につけさせることを意識していきたい。	C	・部活動の入部率のみを扱うことをやめ、放課後の地域活動参加も含めて数値化していることはよいことである。学校の授業でないところで、生徒がどの程度充実した時間を過ごしているかのよい指標となっている。 ・「挑戦」の生徒評価の数値が2（あまりそう思わない）から3（まあそう思う）へ変化するには、どのような経験や気づきがあるとよいのか、具体的な手立てを考えて実践していきたい。生徒の目の前にいる教職員等が、挑戦し続ける姿を見せていくことも必要であると感じた。
	あなたは、うまくいくか分からないことにも意欲的に取り組んでいますか。		83				
上記以外で 評価を求めたい項目	本校は、健康的で安心・安全な学校生活を送ることができる環境整備、支援体制を整えていると思われますか。	90	90	B	・心身の不調のある生徒について、担任・養護教諭・寮務担当・部活動顧問と協力してスクールカウンセラー等への相談につなげることができた。 ・保護者対象進路集会や進路だより等の、進路指導部が企画発信したものだけでなく、校内で生徒が受けた進路行事や進路学習の様子が、ホームページやマチコミ、Instagram等で保護者の目に触れていることで、生徒に進路学習が行われていることを保護者が認識できる度合いが増していると思われる。是非発展的に継続していきたい。 ・家庭（生徒）への連絡手段としてClassroomが少しずつ浸透しつつある。マチコミとClassroomをうまく活用することを考えていきたい。	B	
	本校の授業は、学力や技能の向上に結びついていると思われますか。	88	93				
	本校は、進路選択において必要な情報提供や教職員の指導相談体制ができていると思われますか。	92	89				
	本校に進学して成長できていると思われますか。	99	91				